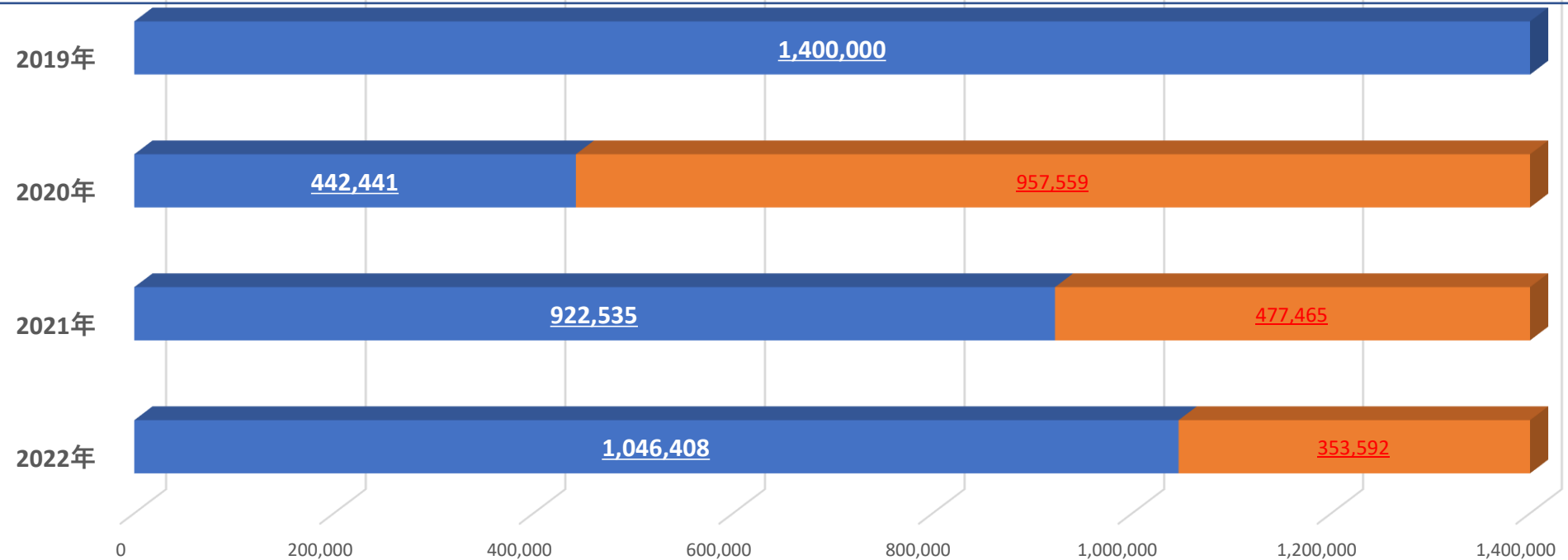


新型コロナウイルス感染症影響度調査結果（7月末時点）

2020年度（4-3月）は、約9,600億円の損失（19年度比▲68.4%）があったものと推計される。

2021年度（4-3月）は、約4,800億円の損失（19年度比▲34.3%）が見込まれて、依然厳しい状況が続いている。

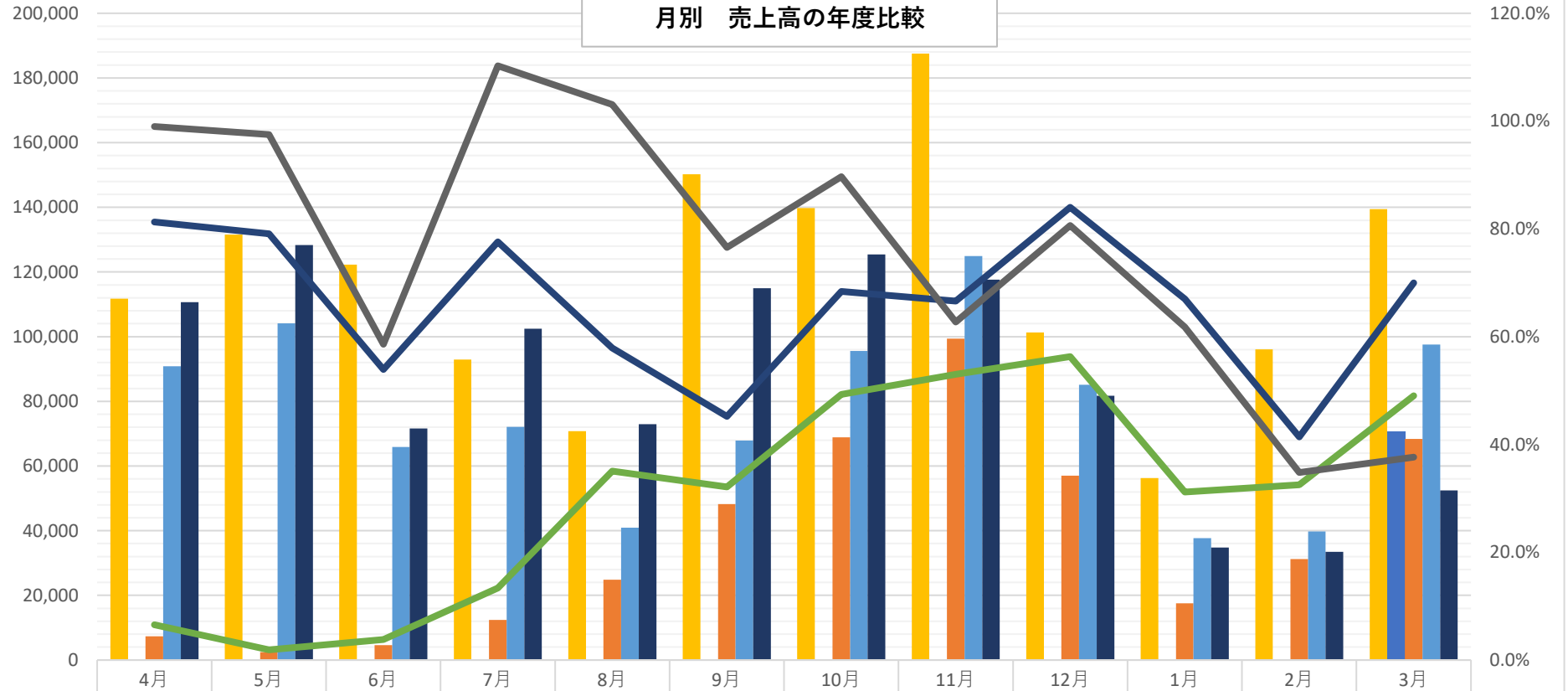
2020年度、2021年度の2年間で、約1.4兆円の売上毀損があったものと推計される。



* 会員企業会場からのアンケート調査回答より推計

* 2022年は、7月末実績+8~3月予約状況

月別 売上高の年度比較



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■ 2019 (平年)	111,753	131,593	122,274	92,962	70,756	150,202	139,774	187,546	101,332	56,285	96,101	139,422
■ 2019 (コロナ)												70,547
■ 2020年度	7,337	2,500	4,646	12,412	24,818	48,215	68,909	99,400	57,050	17,561	31,233	68,360
■ 2021年度	90,810	104,090	65,906	72,139	40,968	67,891	95,605	124,906	85,119	37,711	39,786	97,604
■ 2022年度	110,646	128,316	71,635	102,492	72,938	114,999	125,389	117,593	81,714	34,758	33,442	52,486
— 2020 (19比)	6.6%	1.9%	3.8%	13.4%	35.1%	32.1%	49.3%	53.0%	56.3%	31.2%	32.5%	49.0%
— 2021 (19比)	81.3%	79.1%	53.9%	77.6%	57.9%	45.2%	68.4%	66.6%	84.0%	67.0%	41.4%	70.0%
— 2022 (19比)	99.0%	97.5%	58.6%	110.3%	103.1%	76.6%	89.7%	62.7%	80.6%	61.8%	34.8%	37.6%

* 会員企業102会場からのアンケート調査回答による、7月30日時点の状況

* 売上高 (2019) は、市場規模を1.4兆円として、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」より推計。なお、2020年3月は139421百万が、コロナの影響により70547百万に減少したと推計。

新規来館組数	組数	前年比 (R3年)
4月	1,357	119.1%
5月	1,731	110.6%
6月	1,316	148.8%
7月	1,378	124.7%

* 会員企業102会場からのアンケート調査回答による、7月30日時点の状況

オミクロン株拡大に伴う状況		
	組数	売上
キャンセル	6	13
日程延期	29	3,391

* 7/1~7/31に発生した組数・売上を記入